

## H20年度ごみゼロプラン推進モデル事業

### ①鳥羽市「事業系ごみ(食品廃棄物)再資源化システム検討事業」

・ホテル・旅館などから発生する食品廃棄物の減量化・リサイクルループの構築をめざし、ホテル・旅館、商工会議所等と連携してモデル事業所を選定し、事業系ごみの再資源化に向けたシステムの検討・実証事業を行う。

### ②伊賀市、名張市「レジ袋有料化検討事業」

・レジ袋削減・マイバッグ持参の推進をめざし、隣接する両市間で連携調整を図りつつ、それぞれ住民・事業者・行政等で構成する検討会を運営し、同時でのレジ袋有料化スタートをめざすとともに、ドラッグストア・コンビニエンスストア・ホームセンター等にも参画を求め、より幅広い業種での取組推進をめざす。

### ③松阪市、多気町、明和町、大台町、玉城町、大紀町「レジ袋有料化検討事業」

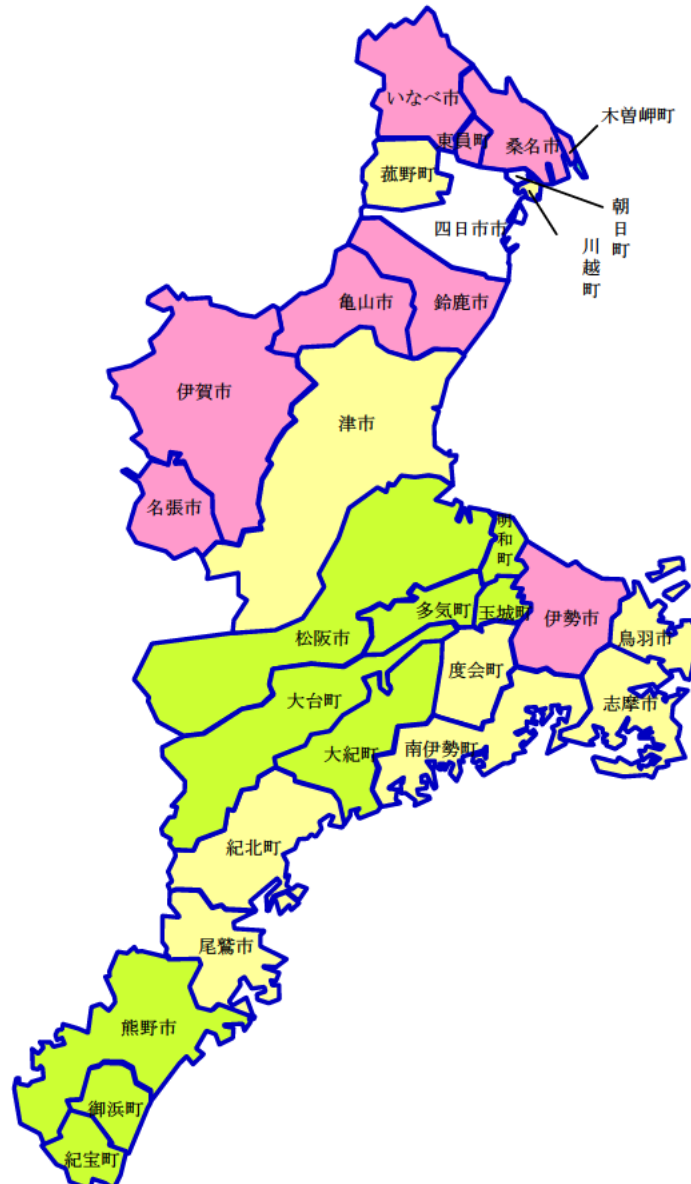
・レジ袋削減・マイバッグ持参の推進をめざし、隣接1市5町の広域ブロックが一体となって、住民・事業者・団体・行政等で構成される一元的な検討組織を設置し、レジ袋有料化や啓発活動等について検討するとともに、各市町ごとに啓発活動を実施し、ドラッグストアも含めた、広域でのレジ袋同時一斉有料化をめざす。

# 「レジ袋有料化」の県内市町の取組状況について

三重県ごみゼロ推進室

レジ袋有料化導入時期・検討状況		市町名
平成19年9月21日導入		伊勢市〔10社31店舗〕 ※うち1社1店舗はH20.5.1より、ドラッグストア2社9店舗はH20.9.21より参加
平成20年7月1日導入		名張市〔10社15店舗〕 ※うちドラッグストア4社6店舗を含む6社8店舗はH20.10.1より参加 伊賀市〔10社19店舗〕 ※うちドラッグストア4社8店舗を含む6社10店舗はH20.10.1より参加
平成20年9月1日導入		鈴鹿市〔12社36店舗〕 ※うちドラッグストア3社12店舗 亀山市〔7社10店舗〕 ※うちドラッグストア2社3店舗
平成20年10月1日導入		桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町〔16社37店舗〕 ※うちドラッグストア4社12店舗
導入予定	平成20年11月11日予定	松阪市・多気町・明和町・大台町・玉城町・大紀町 〔13社66店舗 うちドラッグストア3社19店舗〕
	平成21年4月予定	熊野市・御浜町・紀宝町
有料化について検討中		津市・尾鷲市・鳥羽市・志摩市・菟野町・川越町・度会町・南伊勢町・紀北町

平成20年10月1日現在



# 平成20年度地域ごみゼロ推進交流会の開催概要

資料4

松阪農林商工環境事務所

日時	平成20年8月24日(日) 12:30~16:00
場所	三重県松阪庁舎6階大会議室
参加者	約60名

## 「ものを大切に作る心を育てよう～平成20年度松阪地域ごみゼロ推進交流会～」

【フリートーク】

### ●環境活動紹介・啓発(12:30~14:30)

- 1.「松阪おもちゃの病院」臨時開院
2. リフォーム作品ファッションショー
- 3.「嬉野アイリス」寸劇  
演題:「ゴミ端会議～今の暮らしどっぷりでは地球が危ない！」
- 4.NPO等団体、三重県による各種展示・啓発活動コーナー

### ●フリートーク(14:40~15:55)

テーマ:ものを大切に作る心を育てるために必要なことは何か?



内容



【松阪おもちゃの病院】



【リフォーム作品ファッションショー】



【寸劇】

# 伊賀農林商工環境事務所

日時	平成20年8月31日(日) 13:30~16:00		
場所	三重県伊賀庁舎7階大会議室		
参加者	約70名		
内容	<p><b>ごみゼロ交流会in伊賀～ストップ!レジ袋～ マイバッグ持参シンポジウム</b></p> <p>●講演 テーマ:「伊賀地域モデル」で生活環境を変えよう!          ～市民・事業者・行政の三位一体で進めるマイバッグ持参運動(レジ袋有料化)～          講師:三重大学学長補佐、三重県地球温暖化防止活動推進センター長 朴 恵淑 氏</p> <p>●パネルディスカッション          テーマ:～レジ袋有料化スタート!～「伊賀地域モデル」のこれから          コーディネーター:三重大学学長補佐、三重県地球温暖化防止活動推進センター長 朴 恵淑 氏          パネラー:名張市マイバック持参運動推進市民会議会長 木本 凱夫 氏          持ってだあ～こマイバッグ(レジ袋有料化)検討会会長 立田 彰子 氏          イトリール株式会社西日本カンパニー 総務部 広報・社会貢献グループ マネージャー 堀切 保穂 氏          株式会社オークワ パークシティーなばり店 ストアマネージャー 前山 文彦 氏          マックスバリュ中部株式会社 マックスバリュ上野小田店 店長 南川 直幸 氏          ユニー株式会社 業務本部 環境社会貢献部 チーフマネージャー 松井 淳 氏          名張市生活環境部長 田中 実 氏          伊賀市生活環境部長 浅井 広太 氏</p> <p>●意見交換会</p>		
			

## 地域ごみゼロ推進交流会開催予定一覧

	津農林水産商工環境事務所	伊勢農林水産商工環境事務所
日 時	平成20年11月29日(土) 13:30~16:00	平成21年2月14日(土) 10:00~15:00
場 所	津市西部クリーンセンター	阿児アリーナーベイホール
参加者	50名	交流会:40名 講演会:80名
内 容	<p><b>【講演】</b>            テーマ:「おいしい野菜作り」(誰にでもできる生ごみの堆肥化)            講 師:堆肥・育土研究所 所長 橋本力男 氏</p> <p><b>【事例発表】</b>            亀さんの家 代 表 亀井静子 氏            旅館戸田家 業務副支配人 宍倉秀明 氏</p> <p><b>【意見交換会】</b></p>	<p><b>【午前の部:10:00~12:00】</b>            伊勢志摩地域ごみゼロ推進交流会</p> <p><b>【午後の部:13:00~15:00】</b>            伊勢志摩地域ごみゼロ推進講演会            講師等の選定中</p>

- ・ 桑名農政環境事務所 : 平成20年10月~11月開催で調整中
- ・ 四日市農林商工環境事務所 : 平成20年11月~12月開催で調整中
- ・ 尾鷲農林水産商工環境事務所 : 平成20年11月~12月開催で調整中
- ・ 熊野農林商工環境事務所 : 平成21年 1月末 開催で調整中

## 生ごみ堆肥化講座開催概要

## ▶▶生ごみ堆肥化講座

テーマ	<p><b>家庭で簡易にできる生ごみの処理と利用について</b>  可燃ごみの約3割を占める生ごみについて、家庭でできる生ごみの処理と堆肥化及び堆肥の利用について、県民及び事業者を対象に講座を行い生ごみ再資源化の普及啓発を行う。</p>																				
概要	<p>第1回 一次処理講座  【県内のごみの状況について】  【生ごみの堆肥化について】  ・一次処理の基本的な考え方「衣装ケースを利用した生ごみの一次処理」(講義)  ・衣装ケースの加工、床材づくり(実演及び実習)  【参加者からの意見】  ○ケースの大きさ、ケースの種類などの選定はどうすればよいのか。  ○家にケースを加工する道具が無いので加工できない。  ○籾殻、米ぬか、土、落ち葉などの割合は厳密にしなければいけないのか。  ○生ごみが大量に出る場合、ケース2つに交互に入れるのと2つのケースに半分ずつ入れるのとどちらがよいのか。  ○魚のあらを入れてもよいのか。  ○一次処理で虫が発生しないようにするにはどうしたらよいのか。  ○塩気のある物、腐った物を入れてもよいのか。  ○床材は、生ごみを投入するたびにを入れるのか。  ○生ごみが堆肥になるまでの日数はどのくらいかかるのか。  などの意見がありました。</p> <table border="1" data-bbox="368 1196 1337 1588"> <thead> <tr> <th>開催市町</th> <th>日 時</th> <th>場 所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊勢市</td> <td>8月19日(火) 13:30~16:00</td> <td>伊勢市広域環境組合 リサイクルプラザ</td> <td>県民 19名 行政 5名</td> </tr> <tr> <td>熊野市</td> <td>8月 4日(月) 13:30~16:00</td> <td>熊野庁舎5階501会 議室</td> <td>県民 14名 行政 5名</td> </tr> <tr> <td>いなべ市</td> <td>8月21日(木) 13:30~16:00</td> <td>いなべ市農業公園エ コ福祉広場堆肥舎</td> <td>県民 24名 行政 5名</td> </tr> <tr> <td>大紀町</td> <td>8月28日(木) 13:30~16:00</td> <td>大紀町滝原公民館2 階研修室</td> <td>県民 10名 行政 5名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参加者計:67名 県市町職員計:20名</p> <div data-bbox="392 1630 831 1955"> </div> <div data-bbox="887 1630 1326 1955"> </div>	開催市町	日 時	場 所	参加者	伊勢市	8月19日(火) 13:30~16:00	伊勢市広域環境組合 リサイクルプラザ	県民 19名 行政 5名	熊野市	8月 4日(月) 13:30~16:00	熊野庁舎5階501会 議室	県民 14名 行政 5名	いなべ市	8月21日(木) 13:30~16:00	いなべ市農業公園エ コ福祉広場堆肥舎	県民 24名 行政 5名	大紀町	8月28日(木) 13:30~16:00	大紀町滝原公民館2 階研修室	県民 10名 行政 5名
開催市町	日 時	場 所	参加者																		
伊勢市	8月19日(火) 13:30~16:00	伊勢市広域環境組合 リサイクルプラザ	県民 19名 行政 5名																		
熊野市	8月 4日(月) 13:30~16:00	熊野庁舎5階501会 議室	県民 14名 行政 5名																		
いなべ市	8月21日(木) 13:30~16:00	いなべ市農業公園エ コ福祉広場堆肥舎	県民 24名 行政 5名																		
大紀町	8月28日(木) 13:30~16:00	大紀町滝原公民館2 階研修室	県民 10名 行政 5名																		

第2回 二次処理講座(開催予定)

【参加者からの取組状況報告】

【生ごみの堆肥化について】

- ・二次処理の基本的な考え方「スタンドバッグによる生ごみの二次処理」(講義)
- ・二次処理の発酵管理方法(実演及び実習)

開催市町	日 時	場 所
伊勢市	11月11日(火) 13:30~16:00	伊勢市広域環境組合 リサイクルプラザ
熊野市	10月 6日(月) 13:30~16:00	熊野庁舎5階第501 会議室
いなべ市	10月22日(水) 13:30~16:00	いなべ市農業公園エ コ福祉広場堆肥舎
大紀町	10月 7日(火) 13:30~16:00	大紀町滝原公民館2 階研修室

第3回 堆肥利用講座(開催予定)

【生ごみ堆肥の利用について】

- ・家庭での堆肥利用方法~野菜作り、花作り(講義)

講師:三重県中央農業改良普及センター 専門技術室 主幹 中川威佐夫氏

【意見交換】

開催市町	日 時	場 所
伊勢市	12月9日(火) 13:30~16:00	伊勢市広域環境組合 リサイクルプラザ
熊野市	12月19日(金) 13:30~16:00	熊野庁舎5階第501 会議室
いなべ市	12月 3日(水) 13:30~16:00	いなべ市農業公園エ コ福祉広場堆肥舎
大紀町	12月11日(木) 13:30~16:00	大紀町コンベンション ホール

## ごみゼロセミナーの開催

### 資料4

「ごみゼロ県民セミナー～あなたの行動を大きなごみ減量につなげませんか～」

平成20年7月19日(土) 13:30～16:00 三重県総合文化センター(津市)

参加者:100名

講演 ～消費者の声企業が変える、ごみを減らす～

講師:プログミーツカンパニー 代表 広田 奈津子 氏

事例発表 ～レジ袋削減の歩み～

1. 発表者:伊勢市環境部資源循環課 課長 阪本 保夫 氏
2. 発表者:伊賀環境問題研究会 代表 立田 彰子 氏



広田 奈津子氏の講演



阪本 保夫氏、立田 彰子氏の意見交換会

### アンケート結果

※アンケート回答率 59% 参加者数100名、回答者数59名

Q1: 広田 奈津子氏 ～消費者の声企業が変える、ごみを減らす～

<input type="checkbox"/> とても良かった	38	66.67%
<input type="checkbox"/> 良かった	19	33.33%
<input type="checkbox"/> あまり良くなかった		
<input type="checkbox"/> 悪かった		

#### 【主な意見】

- ・ 生活の場から出るごみについて、生活者が企業・メーカーと直接対話することはとても大切です。おまけのつもりでもただのありがた迷惑になることは、たくさんあります。
- ・ 消費者の、そして日本人の行動がいかに大きな影響力を持っているのかよく理解できた。小さなことと思わずに、色々なことに疑問を持って行動につなげたい。
- ・ 普通に思うことを声に出していくことの大切さが企業を動かし、商品を簡素化することを改めて感じました。
- ・ 生活の中でごみを不用とする問題が多くあることがわかりました。不要なものを企業も見直す必要があると思いました。



Q 2 : 伊勢市環境部資源循環課 阪本 保夫課長 ~レジ袋削減の歩み~

【主な意見】

- 今後導入予定や検討を進める予定がある市町が増えた事は大変よろこばしい事です。どこの市町でも伊勢市さんの導入取組を参考にされることと思います。
- 地元の話題だけに知っているつもりでいましたが、知らないことの方が多かったのを知りました。長い時間をかけて検討されてきたことに驚きました。
- 伊勢市の取組は早くから行われていて、ごみゼロに対する考え方が進んでいると感じた。多くの市町でこのような動きが出てくることで、ごみを減らしていけると思う。

Q 3 : 伊賀環境問題研究会 代表 立田 彰子氏 ~レジ袋削減の歩み~

【主な意見】

- 行政との意識の違いをのりこえた苦勞がわかった。
- 生ごみの堆肥化がすばらしいと思いました。
- 伊勢市の場合と違って2市で行うというのは大変な苦勞があったと思う。

Q 4 : 今後、どんなテーマや内容のセミナーを希望されますか？

【主な意見】

- 先進事例の紹介。例)ごみを出さない暮らし方を実践している人との交流会等
- 抽象的なものでなく、具体的な体験発表(生活者の立場で)など
- 地域でごみゼロに活動している団体・人の話
- 三重県の環境の変化、対策、結果等
- (発生段階での)ごみ減量化対策
- 子供から大人までの年代によるレジ袋等への考え方の違い
- 子供、若者向けのごみゼロセミナー
- 特にごみを出さないという点での事例

Q 5 : セミナーでお気づきの点等、その他ご意見等がございましたら、お書き下さい。

- 会場が鉄道の駅の近くでできないでしょうか。
- 全体会としては時間が長い。今後少人数20~30名程で対談方式、又は全体会・分科会などで行われることを望む。
- 多くの質問がとびかい意識の高い方が多いのに驚かされました。
- 津市以外でもセミナーを開いてはどうですか？
- “生活”に密着した意見が出ていたと思います。
- 一人一人がエコについて、考えてゆく時代だと思います。もっと具体的なエコについて、提案の場を設けていくことにより意識を高めていけるのではないのでしょうか。
- 参加者は関心があり、意識の高い方ばかり。ここに来られない人に聞いていただける手法があるといいなと思います。
- 県のスタッフが細かい点まで気をつけスムーズな運営に関心。テーマを選び、年数回開催してほしい。開催日は、今回のように土曜の午後がよいと思う。
- これからもどんどん参加して勉強してみたい。

# ゴミを出さない暮らしをしていますか？

三重県では、「ゴミゼロ社会実現プラン」を策定し、「ゴミを出さない」、「ゴミが出にくい」生活が当たり前のものとなり、どうしても出てしまうゴミは、資源として有効利用される「ゴミゼロ社会」をめざして取組を進めています。

## みんなであそぼう“ゴミゼロ社会”

風呂敷っているいる使えて便利だよ♪

マイバッグを持ってお買い物♪

お出かけには  
マイボトル♪



三重県ゴミゼロキャラクターゼロ吉

「ゴミゼロ社会」づくりは、県民の皆さんの暮らしに関わる重要な取組です。

家庭から出されるゴミの量は、この10年間ほぼ横ばいで変わっていません。  
もし、このままゴミの排出が続けば…

- ① 地球温暖化の進行
- ② 大切な資源がなくなる
- ③ 施設の更新に伴う費用負担
- ④ 埋立処分場で処理しきれない

といった事態を招き、ゴミ処理システム自体が破綻しかねません。そこで、三重県では、今まで以上にみんなが協力して、「ゴミゼロ社会」の実現をめざした新しい社会のしくみづくりに取り組んでいます。

# ごみを

# 減らしましょう



全国平均  
1,116g

平成18年度1人1日あたり  
ごみ排出量比較

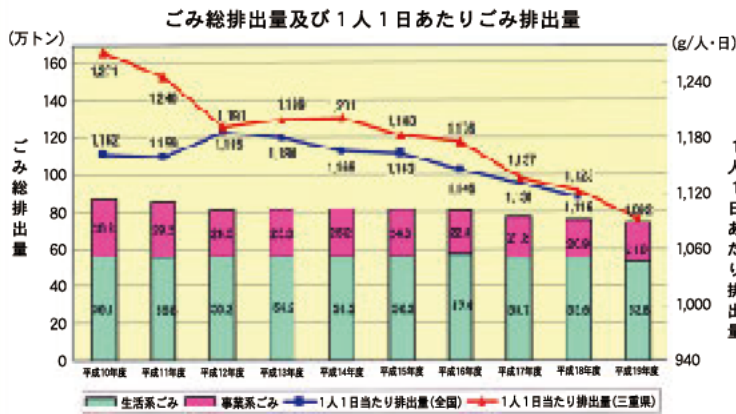
三重県  
1,123g



## どのくらいごみを出しているの？

ごみの排出量について、ここ数年の推移をみると、事業系ごみは順調に減少している一方で、家庭から出る生活系ごみは横ばいという状況が続いています。

また、1人1日当たりのごみ排出量でみると、平成18年度は、17年度に比べて1.2%ほど、5年前の13年度からは6%ほど減少していますが、依然として全国平均を上回っています。

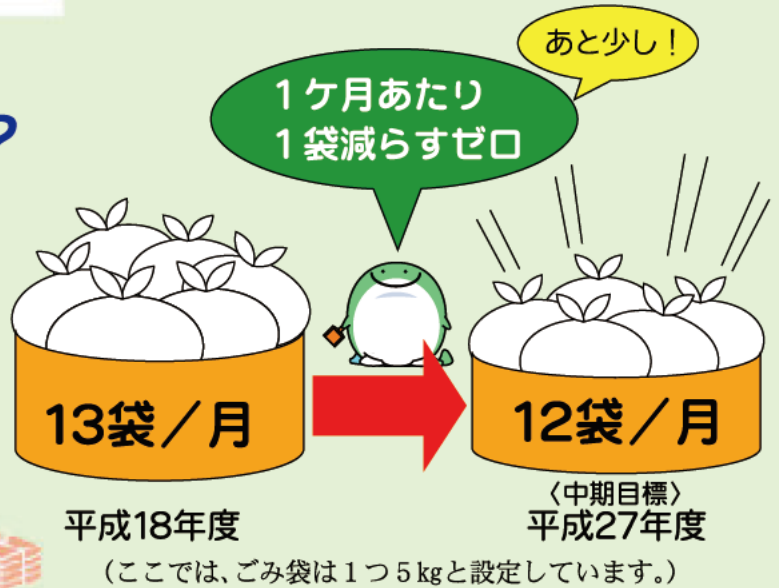


## ごみは、どのくらいまで減らせばいいの？

県内の各家庭から1ヶ月に排出されるごみの量を“ごみ袋”に換算すると、平成18年度は、1世帯あたり13袋となっています。

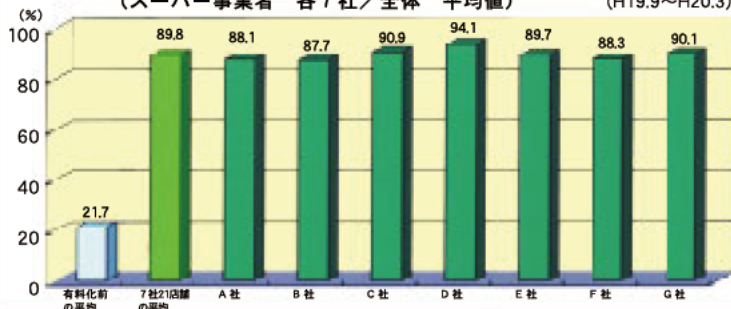
ごみゼロプランでは、中期目標の平成27年度までに12袋、目標の平成37年度までに9.8袋に減らすことを目標にしています。

中期目標の12袋まで、あと1袋！  
ごみ減量化への一層のご協力を  
よろしくお願いします。



## ～伊勢市:レジ袋有料化・マイバッグ持参の取組～

「伊勢市レジ袋有料化」スタート後半年間のマイバッグ等持参率 (スーパー事業者 各7社/全体 平均値) (H19.9~H20.3)



## ごみ減量化には、どんな取組があるの？

伊勢市では、全国に先駆けて事業者・市民・行政の協働により、市内の主要スーパー全店で、平成19年9月21日から、食料品売場のレジ袋が一斉に有料化され、有料化後のマイバッグ等持参率は約90%と、実施前の約20%から大幅にアップしています。

また、平成20年に入り、伊賀市・名張市、鈴鹿市・亀山市においても、レジ袋が有料化されました。

県では、このようなごみ減量化に向けての地域の取組みを支援しています。



1

ごみを埋め立てる場所がなくなってしまう。



埋め立て処分場

2

ごみが減らないとたいへんなことに!

ごみを燃やしたり、埋め立てる施設をつくるのにたくさんのお金が必要です。



ごみ焼却場

3

ごみを燃やすと地球温暖化の原因になる。二酸化炭素が発生します。



4

材料になる資源がなくなっています。



みんなも今日からもったいない名人!

### もったいないチェック

もったいないの気持ちで、ごみを減らすための行動ができていますかチェックしてみよう!

- ごはんは残さずに食べているよ。
- 毎日、マイボトルを持っていくよ。
- えんぴつ・ノートも大事に最後まで使っているよ。
- お買い物に行く時はマイバッグを持っていくよ。
- 着られなくなった服はまただれかに使ってもらおうよ。

チェック 5個 あなたは、ごみを出さない"もったいない名人"

チェック 4~2個 あなたは、ものを大切にする"もったいない達人"

チェック 1~0個 あなたは、あともう一歩!"もったいない初心者"

2008年9月  
三重県環境森林部 ごみゼロ推進室  
〒514-9570 三重県津市佐野町13番地  
TEL 059-224-3126 FAX 059-229-1016  
E-mail gomizero@pref.mie.jp  
URL http://www.eco.pref.mie.jp/gomizero/  
三重県ごみゼロ 推進

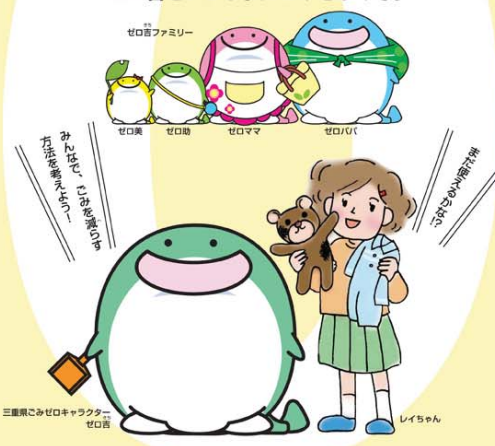
動画配信中  
見てゼロ

「ゼロ」のイメージ  
「ゼロ」のイメージ

もったいないの心を大切に!

# みんなだめぞう "ごみゼロ社会"

~ゼロ吉といっしょにごみをなくそう!~



三重県ごみゼロキャラクター  
ゼロ吉

レイちゃん

## みんなは知ってるゼロ?

三重県では、どのくらいのごみが出ているのか、このままでは、たいへんなことになるぞ!!



### 三重県で出される1日のごみの量



埋め立ての様子



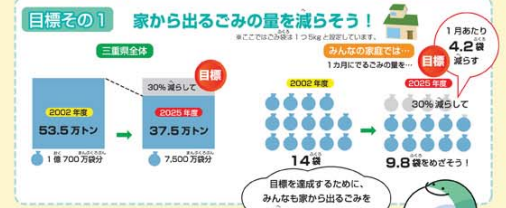
焼却炉の様子

三重県では、2025年までにどれくらいごみを減らすのか目標があるのね。

《ごみゼロ社会づくり》が始まっています

ごみを捨てる前にもう一度考えてみるの。

### 三重県ごみゼロ社会実現プランの目標



# ごみを減らして できるかぎりものを大切に使う 3つの工夫があるゼロ 3R

## リデュース Reduce [減らす]

まずは、ごみを出さないように努力することなのよ。

ごみを出さない! ごみを少なくする努力をしよう!



## リユース Reuse [再利用]

次は、くり返し使うことを考えよう。

捨てる前にもう一度考えて! ものを大切にくり返し長く使おう!



## リサイクル Recycle [再生利用]

それでも出るごみは、きちんと分別して出すの。

ごみはきちんと分別し、資源として有効利用しよう!

